

第4回 インドネシアの影絵芝居 ワヤン・クリの実演



*Sumantri
Ngenger*

美丈夫で武芸達者な兄スマントリ。
醜くもこころやさしい弟スコスロノ。
誤って弟を手にかけた兄と、
兄といっしょの昇天を願って
その時を待つ弟・・・。
光と影、表と裏のような双子の兄弟の
昔むかしの物語。

「スマントリ、 スコスロノ兄弟の物語」

オリジナル: キ・スティノ・ハルドコ・チャリト
訳・監修: 松本 亮(日本ワヤン協会 主宰)
ダラン(人形操作): 中辻 正(日本ワヤン協会)
ガムラン前奏: ランバンサリ有志

*実演前にガムランの演奏を行います。
*実演は、本場インドネシアで録音された音声に
日本語を重ねたテープを用います。

■ワヤン講座 参加無料
2012 10/20 [土] 15:00～ (1時間半程度)
東京家政大学 百周年記念館4階 中会議室
松本亮氏(日本ワヤン協会主宰)より、ワヤンや舞踊
を中心に、インドネシアの文化についてお話
いただきます。

2012 9/29 [土]

14:00～16:30 (開場13:30)

13:40より歓迎のガムラン演奏が始まります

観覧無料

東京家政大学 120周年記念館
1階 多目的ホール

[お問合せ先]

東京家政大学博物館

東京都板橋区加賀1-18-1 TEL 03-3961-2918
<http://www.tokyo-kasei.ac.jp/hakubutu/>

WAYANG

インドネシアのワヤン



ワヤンはユネスコの世界無形文化遺産にも登録されたインドネシアの芸能で、影絵芝居のワヤン・クリや木偶人形芝居のワヤン・ゴレ、仮面芝居のワヤン・トベンなどがあり、上演スタイルもそれぞれに個性的です。

当館では平成19年に特別企画展「影と色彩の魅惑 ワヤン」を開催し、日本ワヤン協会主宰である松本亮氏が40年かけて収集されてきた膨大なコレクションの一部を皆様にご紹介しました。翌平成20年には氏が所有するコレクションから、500点を超す資料をご寄贈いただきました。

この貴重なワヤンの魅力を皆様にご紹介いただくため、日本ワヤン協会の協力を得て平成21年より毎年おこなってきた実演も、本年度で4年目を迎えます。



ワヤンは自由な芸能？

ワヤンを観るのに、“鑑賞”といった堅苦しさはありません。会場内は影絵を映すスクリーンを挟んで、影絵側からでも人形を操る人形遣いのダラン側からでも、自由に行き来しながら楽しめます。

影絵側は揺れ動く影の幻想的な情感をたっぷり。ダラン側ではその人形さばきや、影絵の不思議な動きのちょっとした種明かしも楽しめます。イス席のほかには最前列にはゴザ席のご用意もあります。

なんだか難しそう・・・

そんなことはありません。確かに登場人物の名前や聞きなれない言葉もでてきますが、現地で録音された音源に全編日本語によるナレーションがついています。

当日、会場でお配りする“演目解説パンフレット”をご覧ください。できれば、あらすじや人間関係も事前にチェックできます。



ガムラン音楽も楽しめます

インドネシアの伝統楽器であり、ワヤンの実演にも欠かせないガムラン。ワヤンの実演前に生演奏もあり、本場インドネシアの雰囲気を感じることができます(ワヤンの実演は生演奏ではなく、現地で録音した音源を使用します)。



開催中の展示のご案内

常設展示

「夢幻ワヤン小展示会」ほか

松本亮コレクションを紹介する本展示会も第6弾をむかえます。今回はインドネシア各地のワヤン・クリとワヤン・ゴレを展示しています。

2013年2月上旬まで 観覧料：無料
*休館日などの情報は当館HPをご覧ください

次回展示のご案内

特別企画展

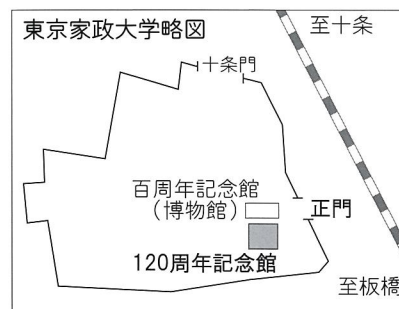
「西洋服装史

—19世紀ヨーロッパのドレスを中心に—

2012 10/18(木)～11/22(木)
休館日：日曜(10/28は開館)・祝日、10/29
観覧料：無料



十条駅北口を降りたら
左手に進んでください



正門よりお入りください
実演は120周年記念館で行います